

授業改善推進プラン

担当教科（ 保健体育 ） 学年（ 1 学年 ）

学力調査・アンケート等の課題分析

- ・アンケートにはほぼすべてにおいて8割から9割がポジティブな回答をしている。
- ・運動が苦手な生徒もポジティブに回答しているという付度に課題がある。

授業等の課題分析

- ・授業の様子は落ち着いてきているが、抑圧されているだけのように感じる。多様性への理解よりも、同調圧力をよしとする流れを感じ、3年間このままでは人格形成上問題がある。



目指す授業

生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育む授業
教え込み、できなければ減点する授業から、「教えない」「できなくてよい」「減点しない」授業



授業改善のための具体的な方策

- ・導入段階で動機付けを高めるべく、「かっこいい」と思わせるよう五輪やプロスポーツなどの技能の提示をしながらも、「楽しそう」と感じるような課題可決方法や技能習得過程を重視する。
- ・運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有すべく、「できる」「得意」な生徒の役割を、「できない」「苦手」「きらい」な生徒に楽しさを伝えることとする。
- ・「できる・できない」は「技能」のほんの一部であり、主体的に楽しむことができたかどうかを重要視して指導にあたり、支援し、評価（加点法）する。

授業改善推進プラン

担当教科（ 保健体育 ） 学年（ 2 学年 ）

学力調査・アンケート等の課題分析

- ・アンケートにはほぼすべてにおいて8割から9割がポジティブな回答をしている。
- ・運動が苦手な生徒もポジティブに回答しているという付度に課題がある。

授業等の課題分析

- ・男女の仲がよく、サポートし合いながら男女共習できている。
- ・失敗から学ぶ意識が薄く、新しいことへのチャレンジを恐れる傾向がある。



目指す授業

生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育む授業
教え込み、できなければ減点する授業から、「教えない」「できなくてよい」「減点しない」授業



授業改善のための具体的な方策

- ・導入段階で動機付けを高めるべく、「カッコいい」と思わせるよう五輪やプロスポーツなどの技能の提示をしながらも、「楽しそう」と感じるような課題可決方法や技能習得過程を重視する。
- ・運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有すべく、「できる」「得意」な生徒の役割を、「できない」「苦手」「きらい」な生徒に楽しさを伝えることとする。
- ・「できる・できない」は「技能」のほんの一部であり、主体的に楽しむことができたかどうかを重要視して指導にあたり、支援し、評価（加点法）する。

授業改善推進プラン

担当教科（ 保健体育 ） 学年（ 3 学年 ）

学力調査・アンケート等の課題分析

- ・アンケートにはすべてにおいて90%以上がポジティブな回答をしている。
- ・運動が苦手な生徒もポジティブに回答しているという付度に課題がある。

授業等の課題分析

- ・体育の授業自体には前向きであるが、男女での活動に対しては消極的な面が見られる。
- ・失敗から学ぶ意識が薄く、新しいことへのチャレンジを恐れる傾向が強い。



目指す授業

生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育む授業
教え込み、できなければ減点する授業から、「教えない」「できなくてよい」「減点しない」授業



授業改善のための具体的な方策

- ・導入段階で動機付けを高めるべく、「カッコいい」と思わせるよう五輪やプロスポーツなどの技能の提示をしながらも、「楽しそう」と感じるような課題可決方法や技能習得過程を重視する。
- ・運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有すべく、「できる」「得意」な生徒の役割を、「できない」「苦手」「きらい」な生徒に楽しさを伝えることとする。
- ・「できる・できない」は「技能」のほんの一部であり、主体的に楽しむことができたかどうかを重要視して指導にあたり、支援し、評価（加点法）する。